

MARUYAMA
REPORT 2018

証券コード 6316

第83期
2017.10.1 ▶ 2018.9.30

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援およびご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、2018年9月期の決算を終了いたしましたので、事業の概況ならびに決算の内容についてご報告申し上げます。

2018年12月

代表取締役社長
尾頭正伸



▶ 決算ハイライト

<p>■ 売上高</p> <p>35,458百万円</p> <p>前期比 0.1%減</p>	<p>■ 営業利益</p> <p>1,120百万円</p> <p>前期比 15.2%増</p>
<p>■ 経常利益</p> <p>1,105百万円</p> <p>前期比 6.7%増</p>	<p>■ 親会社株主に帰属する当期純利益</p> <p>679百万円</p> <p>前期比 9.5%減</p>



▶ 2018年9月期における事業の概況

当連結会計年度における国内経済は、引き続き、企業収益、雇用環境は改善しており、また、設備投資も増加傾向にあり、景気は緩やかな回復が続きました。一方、海外経済におきましても、米国は着実に回復しており、欧州、アジアも緩やかに回復するなど、総じて回復基調で推移いたしました。

当社グループの主力事業である農林業用機械業界におきましては、機械の出荷・生産実績は、前期に比べ輸出向けは増加したものの、国内向けが減少いたしました。また、国内におきましては、米価の上昇や、農業所得の増加はありましたが、国内の農業は成熟市場であり、高齢化や後継者不足などによる農業従事者の減少、耕作放棄地の増加などにより需要の減少もあり、市場を巡る企業間競争は引き続き厳しいものとなっております。

このような状況のもと、当社グループは、コア・テクノロジーであるポンプ技術を活用した新しい用途に対応する新製品を開発、投入することにより、農林業用機械市場のみならず、産業機械市場、海外市場の売上拡大に取り組んでまいりました。

しかしながら、国内におきましては、ホームセンター流通において林業機械が減少したことなどにより、国内売上高は26,994百万円(前期比2.4%減)となりました。一方、海外におきましては、欧州向けの林業機械が減少したものの、北米、欧州向けの工業用ポンプが増加したことにより、海外売上高は8,464百万円(前期比7.8%増)となり、売上高合計は35,458百万円(前期比0.1%減)と前期並みとなりました。

利益面では、生産高の増加に伴う原価率の低下などにより、営業利益は1,120百万円(前期比15.2%増)となりました。経常利益は、期中の円安への振れ幅が前期より小さかったため為替差益が減少したことなどにより1,105百万円(前期比6.7%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、米国の法人税率の引下げに伴う子会社の繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の増加などにより、679百万円(前期比9.5%減)となりました。

▶ 2019年9月期の見通しについて

今後につきましては、国内では、政府の農業政策の変化、海外では各国の政策の不確実性の影響、為替変動などにより、当社グループの事業を取巻く環境は大きく変動しております。

このような状況の中、当社グループは①成長事業の拡大、②品質問題への取組み、③人材の育成、④財務体質の強化の4点を重点課題として取り組み、引き続き収益力の向上ならびに企業体質の強化に努めてまいります。

来期の業績予想につきましては、連結売上高37,000百万円(当期比4.3%増)、連結営業利益1,200百万円(当期比7.1%増)、連結経常利益1,100百万円(当期比0.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円(当期比3.0%増)を見込んでおります。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり配当金 (円)
第2四半期業績予想 (2019年9月期)	15,000	250	200	120	—
通期業績予想 (2019年9月期)	37,000	1,200	1,100	700	35.00

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

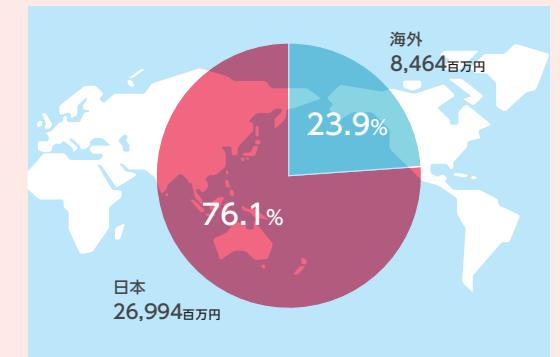
連結セグメント別の概況

	売上高構成比	売上高・営業利益の推移	取扱商品	業績の概要												
農林業用機械	<p>農林業用機械 75.3% 売上高 26,693百万円</p>	<table border="1"> <tr><th>年次</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th></tr> <tr><td>2016/9</td><td>26,548</td><td>939</td></tr> <tr><td>2017/9</td><td>27,683</td><td>1,211</td></tr> <tr><td>2018/9</td><td>26,693</td><td>917</td></tr> </table>	年次	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	2016/9	26,548	939	2017/9	27,683	1,211	2018/9	26,693	917	<ul style="list-style-type: none"> 動力噴霧機 動力散布機 高性能防除機 刈払機 チェーンソー その他 	<p>売上高(前期比) 3.6%減</p> <p>営業利益(前期比) 24.2%減</p> <p>国内におきましては、防除機のほか、ホームセンター流通において林業機械が減少いたしました。また海外におきましても、主に欧州向けの林業機械が減少した結果、国内外の農林業用機械の売上高合計は26,693百万円(前期比3.6%減)、営業利益は917百万円(前期比24.2%減)となりました。</p>
年次	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)														
2016/9	26,548	939														
2017/9	27,683	1,211														
2018/9	26,693	917														
工業用機械	<p>工業用機械 17.8% 売上高 6,313百万円</p>	<table border="1"> <tr><th>年次</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th></tr> <tr><td>2016/9</td><td>5,194</td><td>938</td></tr> <tr><td>2017/9</td><td>5,390</td><td>979</td></tr> <tr><td>2018/9</td><td>6,313</td><td>1,302</td></tr> </table>	年次	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	2016/9	5,194	938	2017/9	5,390	979	2018/9	6,313	1,302	<ul style="list-style-type: none"> 工業用高圧ポンプ 高圧洗浄機 	<p>売上高(前期比) 17.1%増</p> <p>営業利益(前期比) 32.9%増</p> <p>国内におきましては、当社及び子会社の工業用ポンプの売上が増加いたしました。また海外におきましては、北米、欧州向けの工業用ポンプが増加した結果、国内外の工業用機械の売上高合計は6,313百万円(前期比17.1%増)、営業利益は1,302百万円(前期比32.9%増)となりました。</p>
年次	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)														
2016/9	5,194	938														
2017/9	5,390	979														
2018/9	6,313	1,302														
その他の機械	<p>その他の機械 6.4% 売上高 2,252百万円</p>	<table border="1"> <tr><th>年次</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th></tr> <tr><td>2016/9</td><td>2,368</td><td>86</td></tr> <tr><td>2017/9</td><td>2,234</td><td>85</td></tr> <tr><td>2018/9</td><td>2,252</td><td>147</td></tr> </table>	年次	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	2016/9	2,368	86	2017/9	2,234	85	2018/9	2,252	147	<ul style="list-style-type: none"> 消火器 防災関連機器 その他 	<p>売上高(前期比) 0.8%増</p> <p>営業利益(前期比) 73.1%増</p> <p>消防機械を主なものとする、その他の機械におきましては、売上高は2,252百万円(前期比0.8%増)、営業利益は147百万円(前期比73.1%増)となりました。</p>
年次	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)														
2016/9	2,368	86														
2017/9	2,234	85														
2018/9	2,252	147														
不動産賃貸他	<p>不動産賃貸他 1.4% 売上高 513百万円</p>	<table border="1"> <tr><th>年次</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th></tr> <tr><td>2016/9</td><td>522</td><td>268</td></tr> <tr><td>2017/9</td><td>514</td><td>295</td></tr> <tr><td>2018/9</td><td>513</td><td>294</td></tr> </table>	年次	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	2016/9	522	268	2017/9	514	295	2018/9	513	294	<ul style="list-style-type: none"> 不動産賃貸 売電事業 	<p>売上高(前期比) 0.4%減</p> <p>営業利益(前期比) 0.3%減</p> <p>不動産賃貸他の売上高は513百万円(前期比0.4%減)、営業利益は294百万円(前期比0.3%減)となりました。</p>
年次	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)														
2016/9	522	268														
2017/9	514	295														
2018/9	513	294														

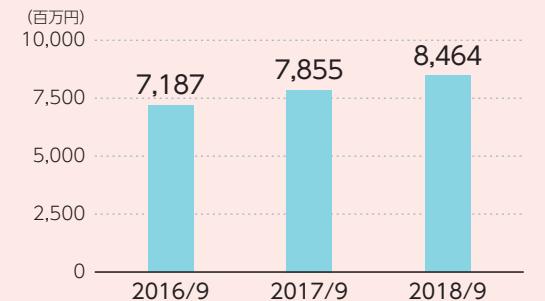
※セグメント別売上高は、セグメント間取引調整前の金額にて表示しております。

海外の売上高の状況

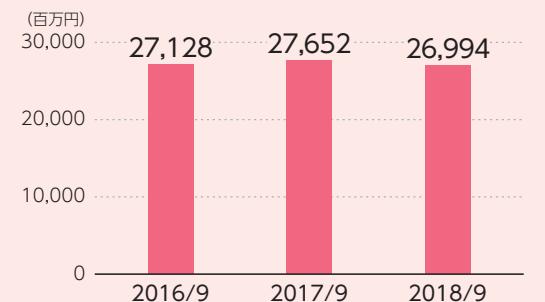
売上高の海外構成比



海外

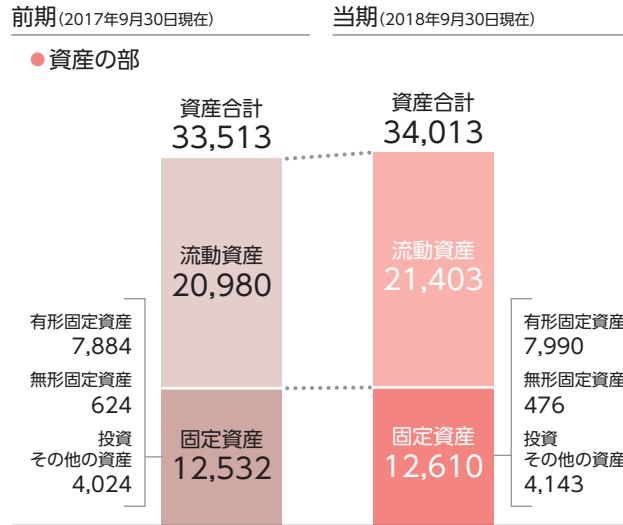


日本



▶ 連結貸借対照表(要旨)

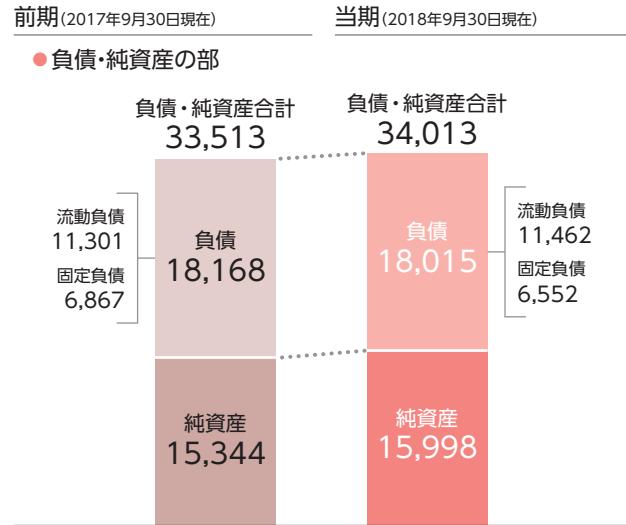
(単位:百万円)



» POINT

資産合計

当連結会計年度末における資産総額は34,013百万円となり、前連結会計年度末より500百万円増加いたしました。これは主に、流動資産が商品及び製品の増加、原材料及び貯蔵品の増加などにより合計で422百万円増加、固定資産が期末日にかけての時価の上昇などによる投資有価証券の増加などにより、合計で77百万円増加したことによるものであります。



※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

負債合計

当連結会計年度末における負債総額は18,015百万円となり、前連結会計年度末に比べ153百万円減少いたしました。これは主に、流動負債は電子記録債務の増加などにより合計で161百万円増加しましたが、固定負債が長期借入金の減少、退職給付に係る負債の減少などにより合計で315百万円減少したことによるものであります。

純資産合計

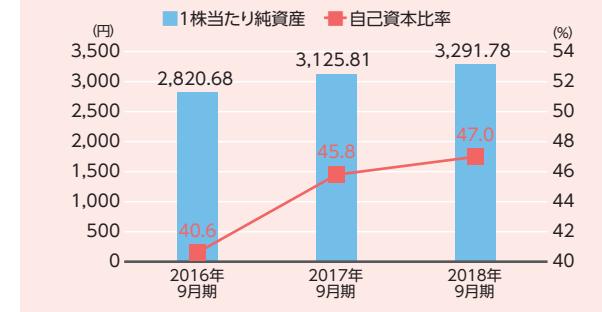
当連結会計年度末の純資産総額は15,998百万円となり、前連結会計年度末に比べ653百万円増加いたしました。これは主に、当期純利益を計上したことなどによる利益剰余金の増加、期末日にかけての時価の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

▶ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 (2016年10月1日～ 2017年9月30日)	当期 (2017年10月1日～ 2018年9月30日)
売上高	35,508	35,458
売上原価	26,498	26,296
売上総利益	9,009	9,161
販売費及び一般管理費	8,036	8,041
営業利益	973	1,120
営業外収益	241	156
営業外費用	178	171
経常利益	1,036	1,105
特別利益	0	3
特別損失	3	42
税金等調整前当期純利益	1,033	1,066
当期純利益	750	679
親会社株主に帰属する 当期純利益	750	679

● 1株当たり純資産・自己資本比率



※2017年4月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、2016年9月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しています。

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 (2016年10月1日～ 2017年9月30日)	当期 (2017年10月1日～ 2018年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,865	1,881
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,222	△1,099
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,215	△974
現金及び現金同等物に 係る換算差額	60	7
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	488	△185
現金及び現金同等物の 期首残高	1,992	2,481
現金及び現金同等物の 期末残高	2,481	2,296

» POINT

現金及び現金同等物の期末残高

前連結会計年度と比べ、財務活動では短期借入金の返済がなかったこと、長期借入金の返済による支出が減少したことなどにより改善し、また、投資活動においても有形固定資産の売却による収入の増加、無形固定資産の取得による支出の減少などにより改善いたしました。しかしながら、営業活動ではたな卸資産の増加などにより減少した結果、当連結会計年度の現金及び現金同等物は前連結会計年度と比べ、185百万円減少いたしました。

ステレオスプレーヤに新型キャビンシリーズ登場

当社はこの度、ご好評をいただいておりますステレオスプレーヤの、新型キャビンシリーズを開発・発売いたしました。このシリーズはキャビン式となっているため、農薬被ばくからオペレーターを守る仕様となっております。更に右ドアには全面ガラス、前方・左ドア・上方・後方にもガラスを設け、作業時の前後左右の視界も良好です。

また、DX仕様のモデルには新開発マイコン内蔵の液晶カラーパネルを採用。このパネルには速度、エンジン回転数、水温、噴霧圧力、燃料ゲージ、薬剤残量が表示され、散布量などのデータも確認することができます。更にバックモニターも装備しており、後進の際も安心です。



【SSA-V1002CT-DX】



マイコン内蔵液晶カラーパネル

1. 視界性に優れた新型キャビン
2. HST標準装備
3. 低燃費で燃料コストの低減化を実現

新型200V温水洗浄機登場

当社はこの度、新型200V温水洗浄機「MKW813H」「MKW1413H」を発売いたしました。この洗浄機は最高80℃の温水でしつこい汚れや油汚れを落とすことができ、農機具の洗浄だけでなく、牛や豚、鳥などの畜舎での洗浄や殺菌、工場の衛生管理など、様々なシーンでの活躍が期待されます。また、両製品ともコストを徹底的に見直したことにより、従来よりもお求めやすい価格を実現させております。

当社は今後も、主力であるポンプを活用した製品の開発・販売に取り組んでまいります。

1. 場所をとらないコンパクトなフレーム
2. 大型キャスター搭載で優れた可搬性
3. 凍結防止装置付きで寒冷地での使用にも対応



【MKW813H】



【MKW1413H】

「ユニバーサルミスト MUM602」登場

2018年4月、当社はミスト（霧）散布装置の最新モデル「ユニバーサルミスト MUM602」を発売いたしました。ミストによる細霧冷房は少ないエネルギーで涼をとる熱中症対策として注目されており、このユニバーサルミストを用いた実験では、2～4℃の温度低減効果を確認しております。

また、ユニバーサルミストは冷却だけでなく、加湿やイベントの際の演出など、多種多様な用途でお使いいただくことができます。2018年7月には鈴鹿サーキットでのイベント「鈴鹿8時間耐久ロードレース」にて、猛暑対策の一環として会場内に「クールダウンエリア」と呼ばれるエリアを設け、ユニバーサルミストを実演させていただきました。

今後は、ユニバーサルミストを用いた新しい提案を行い、更なる販路の拡大に努めてまいります。

1. 軽量で持ち運びが簡単
2. タイマー操作で間欠運転も可能
3. チューブ式の配管で、誰でも簡単に設置可能
4. モーター駆動による高い静音性



【ユニバーサルミスト MUM602】



撮影協力：神奈川県川崎市 学校法人丸山学園 丸山幼稚園様



「鈴鹿8時間耐久ロードレース」会場内に設置されたクールダウンエリア

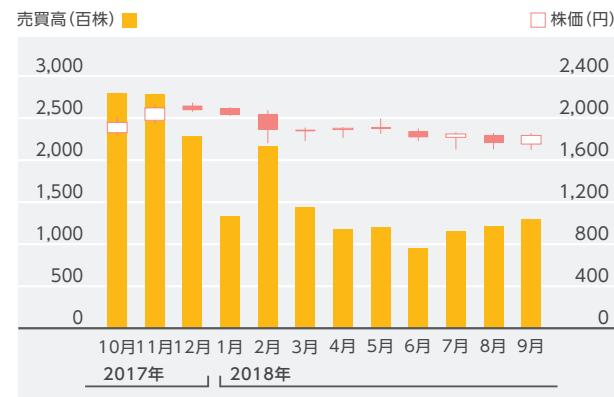
▶ 株式の状況

発行可能株式総数 13,906,100株
 発行済株式の総数 5,029,332株 (自己株式169,339株を含む)
 株主数 4,649名
 大株主(上位10名)

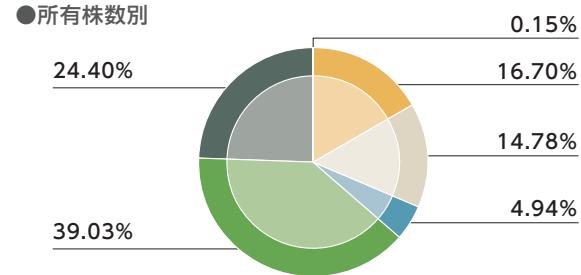
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社みずほ銀行	210	4.32
農林中央金庫	205	4.22
丸山製作所取引先持株会	172	3.54
株式会社千葉興業銀行	162	3.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	139	2.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	116	2.40
丸山製作所従業員持株会	113	2.33
クレディスイスルクセンブルグ エスエー カスタマー アセット ファンズ ユーシッツ	107	2.21
株式会社クボタ	95	1.96
みずほ信託銀行株式会社	90	1.85

(注) 持株比率は自己株式(169,339株)を控除して算出しております。なお、2018年9月30日現在において資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式99,100株を自己株式数に含めております。

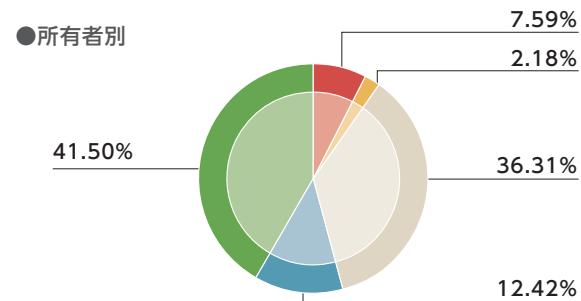
▶ 株価および株式売買高の推移



▶ 株式の分布状況



区分	株主数	持株数
100株未満	370名	7,534株
100株以上100株未満	3,745名	839,965株
100株以上500株未満	442名	743,441株
500株以上1,000株未満	38名	248,406株
100株以上1,000株未満	46名	1,962,933株
1,000株以上	8名	1,227,053株



区分	持株数
外国法人等	382千株
証券会社	110千株
金融機関	1,826千株
その他国内法人	624千株
個人その他	2,087千株

▶ 会社の概要 (2018年9月30日現在)

商号 株式会社丸山製作所
 英文名称 MARUYAMA MFG. CO., INC.
 設立 1937年11月1日
 資本金 46億5,106万円
 本社 東京都千代田区内神田三丁目4番15号
 主な事業内容 農林業用機械(噴霧機、刈払機ほか)、工業用機械(高圧ポンプほか)、消防機械(消火器ほか)、環境衛生用機械ほかの製造並びに販売
 不動産賃貸事業、売電事業
 国内関係会社 日本クライス株式会社、マルヤマエクセル株式会社、西部丸山株式会社、丸山物流株式会社
 海外関係会社 マルヤマU.S., INC.、マルヤマ(タイ) CO., LTD.、丸山(上海)貿易有限公司、山東秋田丸山機械股分有限公司、アジアンマルヤマ(タイ) CO., LTD.
 従業員数 571名
 グループ従業員数 952名
 工場 千葉工場、東金第二工場
 事業所 鏡野事業所、福島事業所
 営業拠点 北海道、帯広、青森、秋田、北東北、南東北、宮城、福島、新潟、甲信、山梨、茨城、北関東、千葉、南関東、静岡、名古屋、北陸、大阪、中国、岡山、四国、福岡、熊本、南九州、宮崎

▶ 役員の状況 (2018年9月30日現在)

代表取締役会長	内山 治 男	
代表取締役社長	尾頭 正伸	
専務取締役	鎌倉 利博	管理本部長
常務取締役	杉本 淳一	生産本部長兼千葉工場長
常務取締役	遠藤 茂巳	営業本部長兼国内営業本部長
取締役	石村 孝裕	海外営業本部長
取締役	内山 剛治	経営企画室長
取締役	砂山 晃一	社外取締役 常勤監査等委員
取締役	土岐 敦司	社外取締役 監査等委員
取締役	浜田 典男	社外取締役 監査等委員

株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
利益配当金受領株主確定日	9月30日
基準日	9月30日 その他必要ある場合は予め公告して設定いたします。
定時株主総会	12月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
お問い合わせ先、郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部 TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル)
未払配当金の受領	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 (当社ホームページ http://www.maruyama.co.jp) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

お知らせ

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、その他各種お手続きにつきましては、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人のみずほ信託銀行ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 未払配当金の受領や支払明細発行、証券会社等に口座がないため特別口座が開設され、その特別口座に記録されました株式に関する各種お手続きなどにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
- 株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。
このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。
株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

単元未満(1株から99株)株式をお持ちの株主様へ

買取をご請求いただくことで、単元未満株式を売却することができます。詳細につきましては下記までお問い合わせください。

■ お問い合わせ先

- 証券会社などの口座に記録された株式
口座開設の証券会社などへ
- 特別口座に記録された株式
上記のみずほ信託銀行株式会社へ

■ 買取制度の例 (160株ご所有の場合)



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



森林管理協議会 (Forest Stewardship Council®) で認証された適切に管理された森林からの原料を含む、FSC認証紙を使用しています。



環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。